

評価表示の手引き

1. 目的

本手引きは、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターの感染性廃棄物容器評価制度によって、合格の評価を得た容器の表示に関わる事項を定めたものです。

2. 表示

2.1 必須事項

感染性廃棄物容器評価制度により合格の評価を得た容器には、容器内に収納する感染性廃棄物の種類に応じた色(図1)のバイオハザードマークを、医療関係機関等と処理事業者間で協議した上で必ず表示する。例えば、固形状の感染性廃棄物のみを収納する場合は、橙色のバイオハザードマークを表示する。



バイオハザードマーク見本

図1 感染性廃棄物の種類に応じたバイオハザードマークの色

- | | |
|----|-----------------------|
| ■赤 | 液状又は泥状の感染性廃棄物（鋭利物は不可） |
| ■橙 | 固形状の感染性廃棄物（鋭利物は不可） |
| ■黄 | 鋭利物 |

2.2 推奨事項

評価を得た事業者等に対して義務付けるものではありませんが、①合格した容器であること、②合格した容器の種類、③積重ね個数、④評価試験の条件、⑤利用期間等の留意事項は、図2に示すように、できるだけ容器に表示してください。

表示方法等の具体的内容は、以下の問合せ先にご相談ください。



公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが運営する感染性廃棄物容器評価制度の審査に合格した容器です。以下の事項に留意して利用してください。

- ・ 固形物専用容器（鋭利物不可）です。
- ・ 3個を超えて積重ねないでください。
- ・ 10kgの廃棄物を収納した条件で、容器を落下、転倒した際の安全を確認しています。
- ・ 納入後1年以内に利用してください。

図2 容器への表示例

* 問合せ先

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階

公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 調査部

TEL : 03-5275-7111 FAX : 03-5275-7112 E-mail : chousa@jwnet.or.jp